

腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう！

～腸管出血性大腸菌による感染症の発生に気をつけましょう。二次感染を防止しましょう。～

本県における、腸管出血性大腸菌による感染症について、平成30年7月27日現在（平成30年1月1日～平成30年7月22日第29週まで）、10人の患者が報告されています。

今後、気温が上昇するなど、さらに細菌が繁殖しやすくなります。

このため、別添チラシ「腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう！」を各市町や保健所、関係機関に送付するとともに、県のホームページに掲載し、県民に向けて注意喚起することとします。

香川県における腸管出血性大腸菌感染症発生状況(高松市分含む)

(単位:人)

(和暦)年	30年 ※1)	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年	
感 染 者 数	10	47	23	17	17	23	25	11	26	53	28	
有症者数	4	18	10	12	9	15	10	9	17	32	18	
無症者数	6	29	13	5	8	8	15	2	9	21	10	
内	○157	0	10	12	7	8	9	10	5	23	19	16
	○26	7	22	7	4	1	9	6	1	2	28	6
	○111	0	6	0	0	1	1	0	3	0	0	1
	○168	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他	2	9	4	6	7	3	9	2	1	6	5
訳												

※1 平成30年29週（7月22日）時点

<参考>

全国の発生状況

(単位:人)

(和暦)年	30年 ※2	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年
感染者数	1,173	3,904	3,645	3,567	4,131	4,044	3,768	3,940	4,134	3,889	4,321

※2 平成30年28週（7月15日）時点（速報値）